

第40回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009年11月21日～23日（金沢大学）

セッション討議内容の記録

討議内容	セッション名： 交通量推定 (1)
	日付：11月23日（月）曜日、セッション時間：10:45～12:15
	司会者名（所属）： 桑原 雅夫（東京大学）
	セッション全体： <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通と土地利用モデルを統合したモデルの紹介、動的な時間帯別配分に関する理論研究発表、センターレスプローブの効果のシミュレーション分析というように多彩な内容のセッションであった。</li> <li>・3つの発表に共通のテーマとしては、動的配分、シミュレーション、静的配分というように、ネットワーク解析があげられる。</li> <li>・多彩な発表ではあったが、フロアからの質疑も活発で有意義な90分であった。</li> </ul>
	(発表番号) 発表者名 (所属) : 263 小出 智 ャ 豊田 研 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通と土地利用モデルを統合したモデルの紹介</li> <li>・世帯単位のエージェントベースのモデルにする必要性が明白でなかった。</li> <li>・名古屋都市圏における、モデル検証が今後の課題である。</li> <li>・モデル検証は、少なくとも2時点における検証が必要という意見があった。</li> <li>・歴史的な交通ネットワーク整備と土地利用の変遷を記述できるモデルへの展開が期待された。</li> </ul>
(発表番号) 発表者名 (所属) : 264 吉根 俊 東北大学 <ul style="list-style-type: none"> <li>・動的な時間帯別配分に関する理論研究発表</li> <li>・本手法を改良すれば、動的な利用者均衡配分 (DUE) の解法にもつながりそう (?)</li> <li>・時間間隔を細かくしていくと、DUEではなくDUOに接近するらしい。</li> </ul>	
(発表番号) 発表者名 (所属) : 265 壺藤 雅介 埼玉大学 <ul style="list-style-type: none"> <li>・V2Vだけを考慮したセンターレスプローブの有効性に関するシミュレーション分析</li> <li>・V2Iと組み合わせた解析が期待される。</li> <li>・進行方向が同じ車両同士のV2Vも考えられないか？特に渋滞している状態では車間距離も短いので可能ではないか。</li> </ul>	
(発表番号) 発表者名 (所属) :	